

達成度(評価)
A: 十分達成できている
B: おおむね達成できている
C: やや不十分である
D: 不十分である

学校名	佐賀県立盲学校
-----	---------

1 前年度 評価結果の概要	・保護者や関係機関と連携を取りながら、幼児児童生徒の実態に応じた支援・指導を行うことができた。 ・職員研修などを通して教育内容の改善に努めた。また、「主体的に学び続けるための意欲を高める指導」をテーマとした校内研究を進めた。 ・「目の支援センター ゆうあい」を中心に、弱視学級との連携や地域からの相談と支援、啓発活動等を行った。関係校とのネットワークもでき、相談件数も増加するなど、センター的機能の充実、周知につながっている。
------------------	---

2 学校教育目標	視覚に障害のある幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な支援を行い、自立と社会参加及び心豊かな人格の形成を目指す。 - 明朗・友愛・自立 -
----------	---

3 本年度の重点目標	「夢をはぐくみ、未来をひらく盲学校」 1 自立と社会参加に向けた力の育成 2 専門性向上に向けた研究・研修の充実と、力を引き出す授業の実践 3 視覚障害教育センター的機能の充実と周知
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●児童生徒一人一人のニーズに応じた指導・支援による確かな学力の定着	○あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師国家試験模擬試験合格률100% ○「学力の定着が図られた」と回答する保護者80%以上 ○「個別の指導計画における自立活動の指導及び評価が適切に行われた」と回答する教員80%以上	・国家試験対策として模擬試験、補習授業、課題配布及び課題テストを実施する。 ・学習内容及び方法を適切に設定し、学習評価をとおして効果的な学力の向上を図る。 ・自立活動の指導内容及び方法、評価等を適切に実施することにより、効果的な学力向上につなげる。							進路指導主事
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○各学部の道徳教育・学活・ホームルーム活動などを通して、豊かな心を身に付ける教育活動に参加する児童生徒100%	・社会生活の基本となる「あいさつ」の重要性を児童生徒に呼びかけ、他者への思いやりや社会性を養う意識付けを行う。 ・児童生徒の夢や希望を大切にし、将来の自立と社会参加に向けて、生きる力が身に付くよう学校生活のあらゆる場面で支援と働きかけを行う。							生活指導部主任
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○人権意識を高め、他者を思いやる気持ちと感謝する心を育成する活動に参加する児童生徒100%	・防犯教室、がん教育や性教育などの講話を通して、さまざまな角度から人権意識の向上に努める。 ・学校生活アンケート(年3回)を実施して、児童生徒の心の状態を把握し、児童生徒が安心して学べる環境づくりに努める。 ・「いじめ防止標語コンテスト」を通して、人権に関わる意識の高揚といじめ抑止効果を高める。 ・スクールカウンセラーへの相談件数が前年度(32件)を下回らないような体制を作り、安心して相談できるようにする。							生活指導部主任
●健康・体づくり	●児童生徒が夢や希望を持ち、将来の自立と社会参加に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	○「児童生徒の希望や状況等に応じたキャリア教育及び職業教育ができて」と回答する保護者80%以上	・個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成において、本人・保護者の希望や教育的ニーズを的確に把握する。 ・キャリア教育の視点を盛り込んだ学習指導案を作成する。							教頭
	●望ましい生活習慣の形成	○自分の障害を正しく理解し、将来の自立と社会参加につながるような生活習慣を確立しようとする意欲を持つ児童生徒100%	・毎朝の「健康観察簿」への記入・提出を促し、日ごろから将来にわたって自分で健康チェック(朝食・歯磨き・検温)をする習慣をつける。 ・基本的な生活習慣の形成に役立つ情報発信のための「保健だより(毎月)」を配布する。 ・長期休業に入る前に生活指導と保健指導の両面から講話を行い、生活習慣形成への意識付けを行う。							生活指導部主任
●地域支援	●効果的な地域支援に向けた特別支援学校のセンター的機能の充実	○視覚等に関する相談に100%応じ、相談者や関係者の個別のニーズに応じた相談・支援・連携を行う。	・「目の支援センター ゆうあい」として、地域に対し相談支援活動や啓発・広報活動等を行う。 ・弱視学級や見えにくさがある幼児児童生徒の所属学校等と連携し、研修会の実施や定期的な情報提供等を行う。 ・巡回相談を行う小中学校等に対し、実態や状況に応じた助言を行う。							相談支援主任
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外勤務時間の上限を遵守する。	・定時退勤日を設定し、計画的に業務を行う。 ・必要に応じて学校行事や各校務分掌等の業務内容を見直す。							教頭 事務長
	○円滑な教育計画の実施	○重点目標達成のための年間行事計画を作成し、職員の共通理解を図る。また、授業時数の確保と学校行事等の両立に努める。	・曜日の振替等により各教科・科目の授業時数の確保に努めるとともに、学校行事等のために必要な時間を確保する。 ・学校行事に関しては、その計画やねらいを職員間で共有し、円滑な運営を行う。							教務主任

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
○教育活動	○個別の教育支援計画	○幼児児童生徒及び保護者の希望やニーズに基づいた個別の教育支援計画が作成されていると回答する保護者、教員が80%以上	・本人・保護者の希望やニーズを的確に把握し、作成会議や支援会議を通して、個別の教育支援計画を作成、運用する。							相談支援部主任	
	○個別の指導計画(幼小学部)	○「個別の指導計画」を生かした指導・支援が適切に行われたと回答する教員・保護者80%以上	・児童の実態と教育的ニーズを的確に把握し、一人一人に応じた指導計画を立て、指導・支援を充実させる。							幼小学部主事	
	○個別の指導計画(中学部)	○「個別の指導計画」を生かした指導・支援が適切に行われたと回答する教員・保護者80%以上	・生徒の実態と教育的ニーズに応じ、個別の教育支援計画をもとにした適切な個別の指導計画を作成し、情報を共有しながら指導・支援の充実を図る。							中学部主事	
	○個別の指導計画(高等部)	○「個別の指導計画」を生かした指導・支援が適切に行われたと回答する教員・保護者80%以上	・生徒の実態と教育的ニーズに応じた個別の指導計画を立て、指導・支援の充実を図る。							高等部主事	
	○教育の質の向上に向けたICT利活用	○弱視の児童生徒に対し、電子黒板・学習用タブレットを用いたデジタル教科書・自作デジタル教材を活用できると回答する教員90%以上 ○全盲の児童生徒に対し、デジタル録音、テキストデータ・点字データによる教材を活用できると回答する教員90%以上	・ICT利活用教育(視覚障害のある児童生徒に特化した教材の工夫)に関する研修会を行う。 ・ICT利活用教育に関する情報を含む機関紙を発行し、全職員に回覧して情報提供を行う。								図書・情報部主任
	○寄宿舎における生活指導	○寄宿舎生の実態に合わせ、自立に向けた支援指導が達成していると回答する指導員80%以上	・実態把握を綿密に行い、指導員全体で手立てを考え実行する。								舎務部

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------